

主な論点と今後の進め方

実現に向けた課題と主な論点

■課題

- 大宮駅と幹線道路網がやや離れているため、拠点施設と幹線道路網とのアクセス方法の検討が必要となる。
- 大宮駅周辺の土地利用の状況を踏まえると、再開発との一体的な検討も考慮する必要がある。
- 都市再開発、核都市広域幹線道路、新幹線物流等は、長期的な視点での検討が必要であり、現時点では不確定要素がある。

■論点

- 候補地の検討とともに、歩行者やバス等の動線計画の議論を深めていくべきではないか。
- 候補地の検討とともに、国道17号等を経由したアクセス方法の検討を深めていくべきではないか。
- 候補地や施設検討とともに、大宮駅周辺の立地特性を踏まえながら、
 - 1) 多様な交通の相互連携
 - 2) さいたま新都心等の周辺地区との連携
 - 3) 首都直下地震等に備え、防災支援の拠点としての活用等を実現するための具体的な検討を始めるべきではないか。

今後の検討の進め方

第1回

令和3年4月21日

- 事業計画検討会の設置
- 広域交通拠点「大宮」の特色、課題
- バスタプロジェクトの施策推進 他

第2回

令和5年3月6日

- 大宮駅周辺の歴史的な変遷
- 再開発事業（近年完成・事業中）の紹介
- 将来まちづくり計画（GCS等）の紹介
- 大宮駅周辺の国道等事業概要
- 大宮駅周辺における交通結節点の考え方

第3回

令和5年12月11日

- 交通結節点としての機能（交通機能、サービス機能、交流機能）【一部】
- 将来まちづくり計画と交通結節点整備のあり方【一部】
- 交通拠点と防災機能のあり方【一部】

第4回

令和7年3月21日

- 大宮駅西口交通結節点と関係する諸計画
- 交通結節点としての機能（交通機能、サービス機能、交流機能）
- 基本コンセプト（案）

今後

第5回～

- 整備方針（案）
- 施設計画（施設計画・機能・配置 等）
- 動線ネットワーク（歩行者、モビリティ、さいたま新都心と大宮のつながり、国道17号からのアクセス 等）
- 事業スキーム（事業区分、整備手法 等） 等

事業計画の策定

事業着手・事業計画に基づく詳細設計